**専門能力開発実績記録**

氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　登録番号：

＊自身が行った専門能力開発(ＣＰＤ)について以下の該当欄に記入し、必要書類を添付して提出して下さい。

　記入欄が不足する場合は「下に行を挿入」により記入して下さい。（レイアウトの多少のくずれは問題ありません）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 専  門  能  力  開  発  の  方  法 | **１．JRCA登録CPDコースへの参加**（ https://www.jrca-jsa.or.jp/jrca/jrca\_kensyu\_a1/ ）  ・以下を記入し、いずれの研修についても「修了証」（“JRCA登録”と記載があるもの、コピー可）を添付すること。 | | | | | | |
| 研修コース名称 | | 開催日 | | 研修機関 | 修了証 | 有効時間 |
| ① | |  | |  | 添付 |  |
| ② | |  | |  | 添付 |  |
| ③ | |  | |  | 添付 |  |
| **２．IAF加盟認定機関から当該MSの認定を受けているMS認証機関が主催する研修等（所属する審査員を対象としたもの）への参加**  ・以下を記入し、いずれの研修等についても「**プログラム**」（コピー可）を添付すること。（休憩時間をCPDの時間に含めることは不可）  ・研修等の内容の習得の証としてそれぞれの「**修了証**」（コピー可、参加証は不可）を添付するか、又は以下の証明欄に**MS認証機関責任者の署名又は記名押印**をもらうこと（修了証/責任者証明に代えて「専門能力開発実績記録レポート（当該様式2枚目）」の提出でも可）。 | | | | | | |
| 研修等の名称 | 開催日 | | MS認証機関 | | ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ | 有効時間 |
| ① |  | |  | | 添付 |  |
| ② |  | |  | | 添付 |  |
| ③ |  | |  | | 添付 |  |
| ④ |  | |  | | 添付 |  |
| ⑤ |  | |  | | 添付 |  |
| 上記のとおり、別紙プログラムに基づいて該当するマネジメントシステム審査員としての専門能力開発に取り組み、所定の事項を習得したことを証明します。  ＭＳ認証機関名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  職位：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_＿＿＿＿＿ 印 | | | | | | |
| ３．その他（上記１、２以外）の研修・セミナー・講演会等への参加  ・以下のそれぞれについて「専門能力開発実績記録レポート（当該様式2枚目）」を作成し添付すること。  ・プログラムの添付は不要。 | | | | | | |
| 研修・セミナー・講演会等の名称 | 開催日 | | 主催者 | | CPD記録 | 有効時間 |
| ① |  | |  | | 添付 |  |
| ② |  | |  | | 添付 |  |
| ③ |  | |  | | 添付 |  |
| **４．自己学習等**  ・以下のそれぞれについて「専門能力開発実績記録レポート（当該様式2枚目）」を作成し添付すること。 | | | | | | |
| 学習内容（使用した教材、書籍等の名称） | | | 実施日 | | CPD記録 | 有効時間 |
| ① | | |  | | 添付 |  |
| ② | | |  | | 添付 |  |
| ③ | | |  | | 添付 |  |
| ＊上記１～４のＣＰＤ合計時間を右欄に記入すること   1. 資格の維持／更新の場合、**主任審査員及び審査員は１５時間/年、審査員補は５時間/年**のCPD実績が必要です。 2. 「食品安全マネジメントシステム審査員の資格基準」（**JRCA AF140**）の「**１２．継続的専門能力開発(CPD)**」を確認の上、ご記入ください。 3. 内容について、食品分野であっても**食品安全の要素が確認できない場合**は（機能性や、食品表示[安全性に関係ないもの]、など）**受理しない**ことがあります。 4. 専門能力開発実績記録レポートは、800字程度のレポート(当該様式2枚目)を提出してください。 | | | | | | 合計 |
|  |

**専門能力開発実績記録レポート**

**氏名**：　　　　　　　　　 　　　**登録番号**：

※CPD活動により審査員としての**能力が維持・向上したことを証明**するエビデンス資料であり、**行動記録ではありません**。

「食品安全マネジメントシステム審査員登録申請等各種手続きの手引き（JRCA AF340）」の「21．継続的専門能力開発(CPD)実績の記録（JRCA F5120-09）の記入方法」に準じて記入すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 【選定した課題】 | 【項目番号】対応する「専門能力開発実績記録」の項目番号を転記する。例）“自己学習等”の１番目に記入したものは“４－①”  と記入する。 |
| 【学習の目的】 | |
| 【習得した内容（CPD活動の結果、**身についた気付きや知識等に関する解説**）】  （800字程度記述する。次ページへの繰越可であるが、要点を記述すること。） | |

**【専門能力開発実績記録レポート」（様式JRCA F5120-09の２ページ目）の記入上の注意】**

専門能力開発実績記録レポートは、マネジメントシステム審査員が自らの力量を維持・向上するために実施した能力開発活動の結果として、力量の維持・向上が得られたことを自らの文章で記述することによって第三者に実証するための記入様式です。目的と習得内容の記述が必要です。

・目的：どのような目的で能力開発に取り組んだかを簡潔に記述して下さい。所属機関の指示によって研修等に参加した場合においても、自らがその活動参加によって期待したことの記述をお願いします。

・習得内容：力量の維持・向上が得られたことを実証するために、何を学んだかを十分に記述していただく必要があります。学んだ知識、技術、知見等の内容を具体的に記述して下さい。学んだことをすべて網羅して記述する必要はなく、目的に照らして特に有効であった点に絞って記述していただいて結構です。

習得内容の記述不備の例

１）何に関して学んだか（例えば、トレーサビリティについて学んだ、PL法について学んだ）といった学習のテーマしか記述されていないケース

⇒そのようなテーマに関して学んだ内容のポイントをお書きください。

２）何をやったか（例えば、資料を作成した、研修に参加した、講師として教育を実施した）といった活動した内容しか記述されていないケース

⇒そのような活動の結果、あるいは活動の準備作業において学んだことをお書きください。

３）書籍や研修の目次を列挙しているだけのケース

⇒目次を列挙しても力量の維持・向上の実証にはならないので、実際にためになった主な内容を具体的にお書きください。

４）過去に提出したCPDと同一の習得内容を記述しているケース

⇒学習対象は同一のものでも構いませんが、力量の維持・向上に役立った新たな学びの内容を記述してください。

以上